

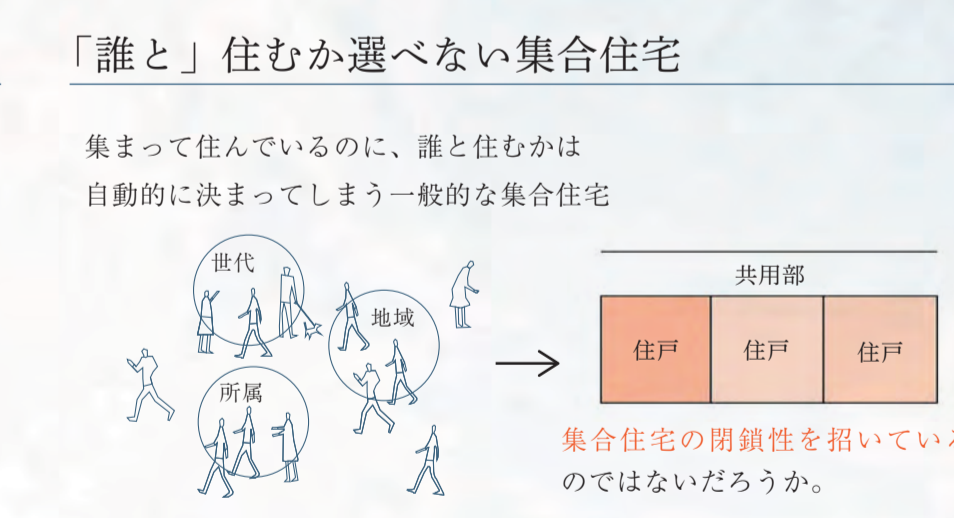
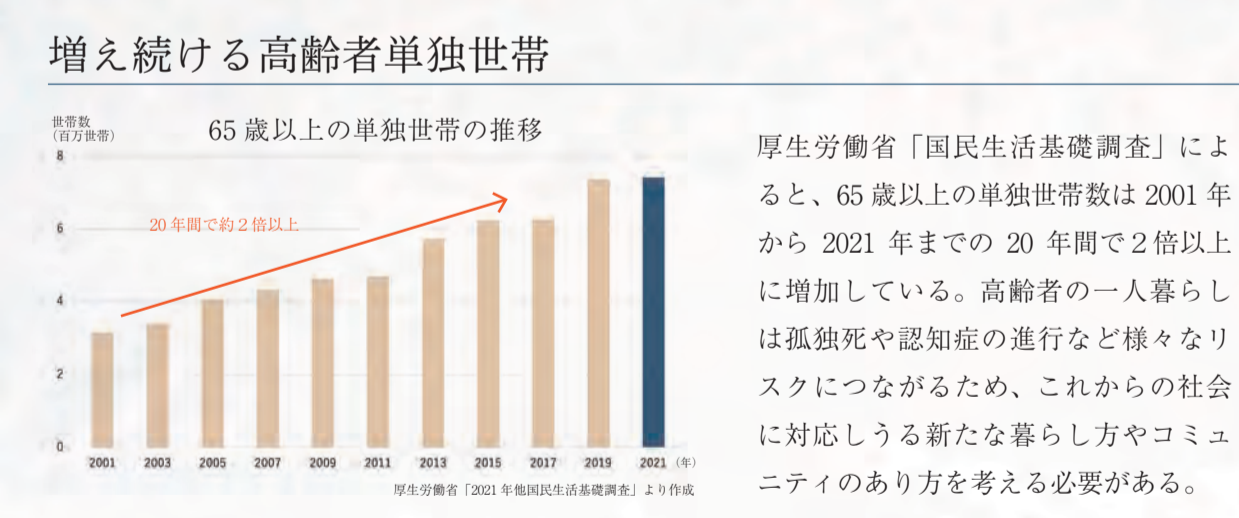
同窓会アパートメント

— 大学同窓会の再評価による新しいコミュニティのかたち —

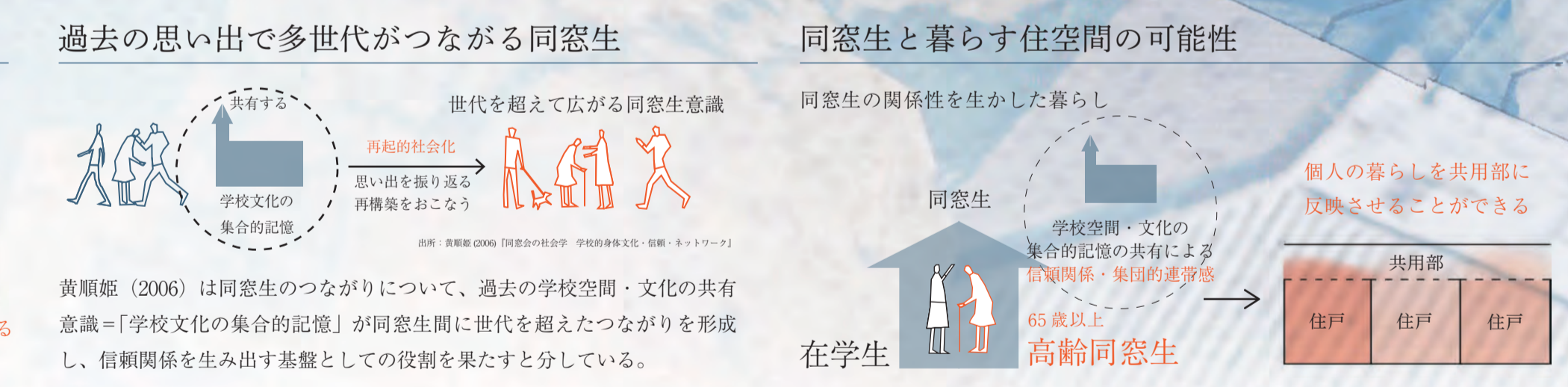


同窓生と街で出会ったとき、初めて会うのに親しい気持ちになるのはどうしてだろう。
 本提案は「同窓生」という人々のつながりに着目し、生活に直接関わる共同体として再評価した集合住宅である。
 同窓生と暮らすという選択肢が、現代社会を照らす新たなスタンダードとなることを目指して。

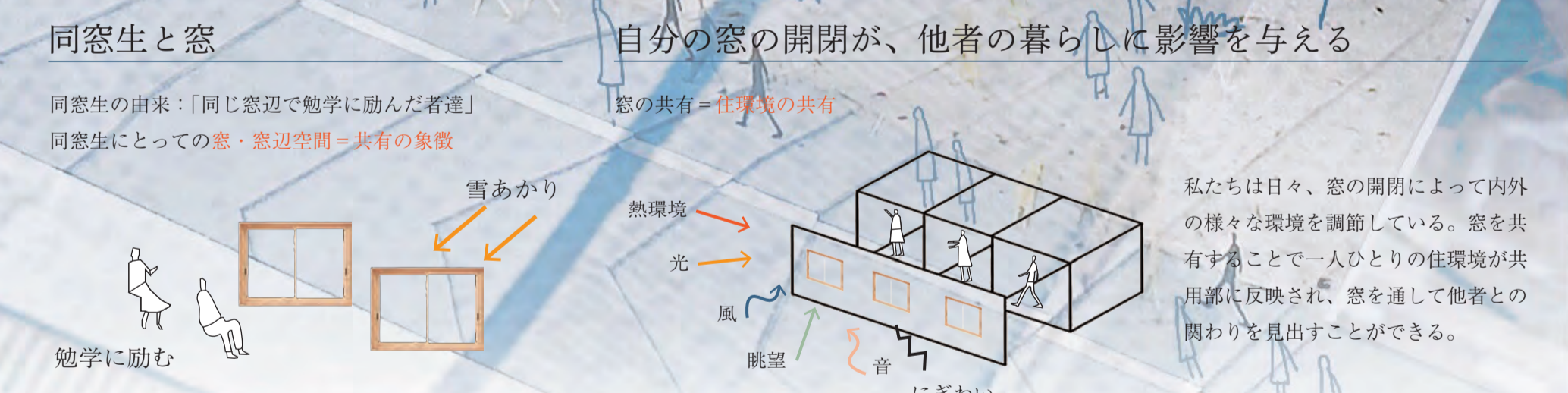
背景



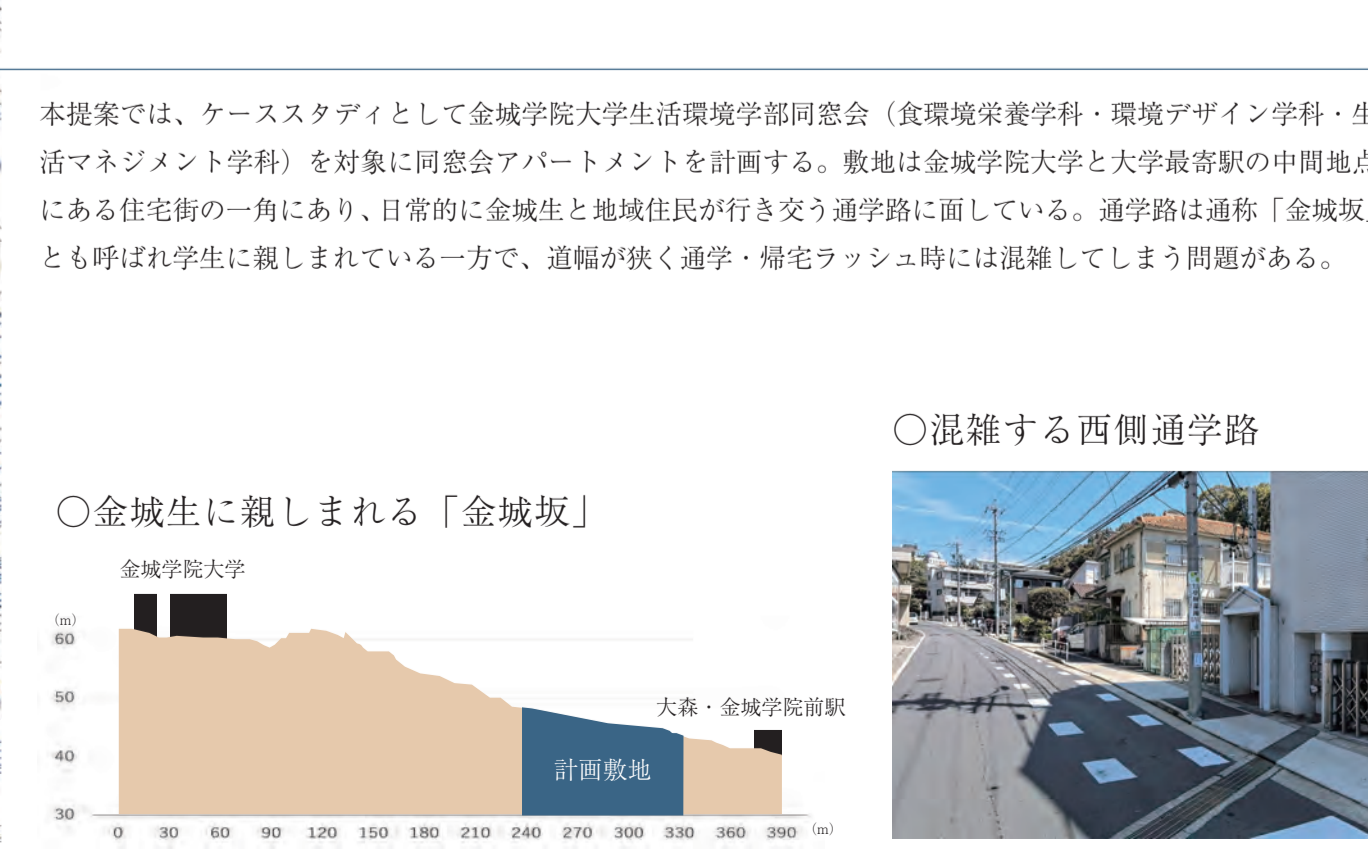
提案 「同窓生と」暮らす新しい選択肢



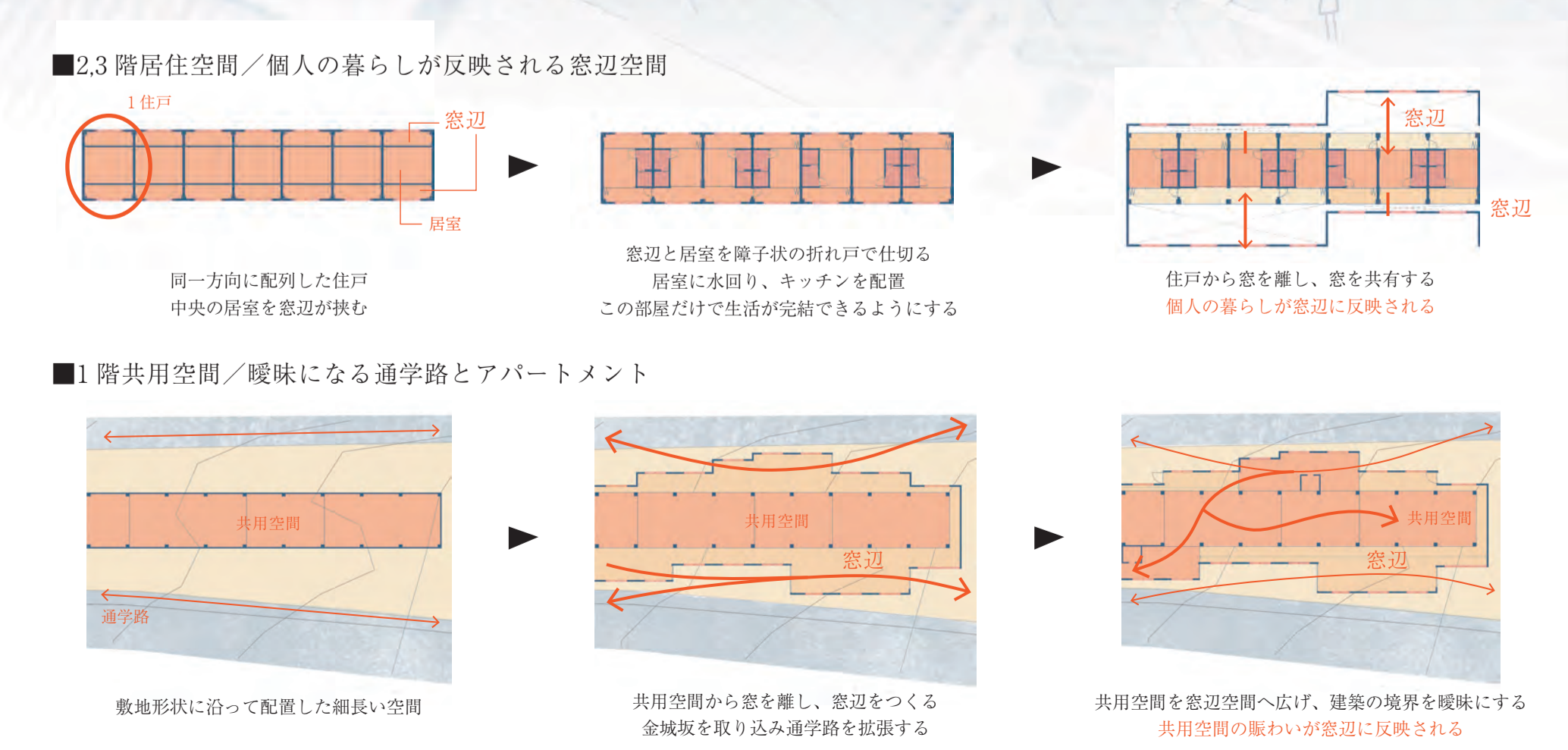
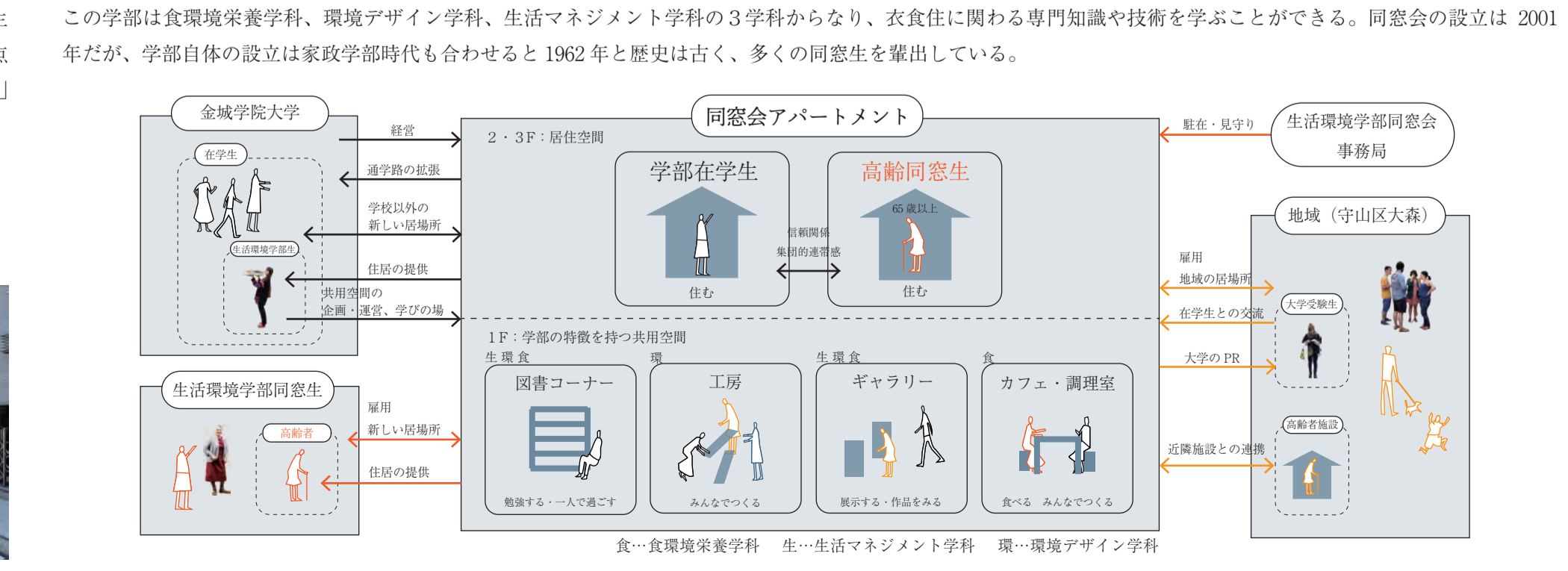
設計手法 窓の共有と窓辺空間の形成



建築計画 金城学院大学 生活環境学部同窓会



大学と地域の結節点としての同窓会アパートメント



他者との関わりを見出す「窓の共有」

■専有部の窓辺…受動的な環境の共有



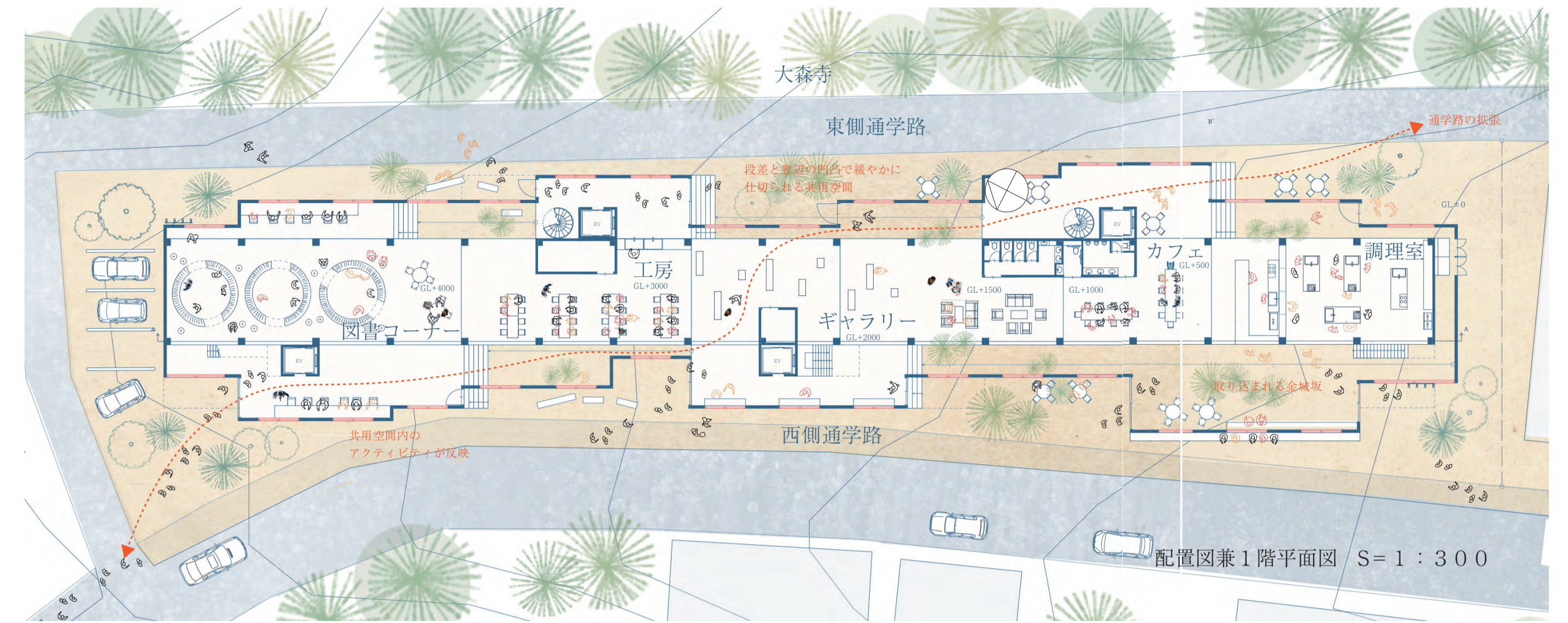
両上げ下げ窓

ギャラリー
図書コーナー

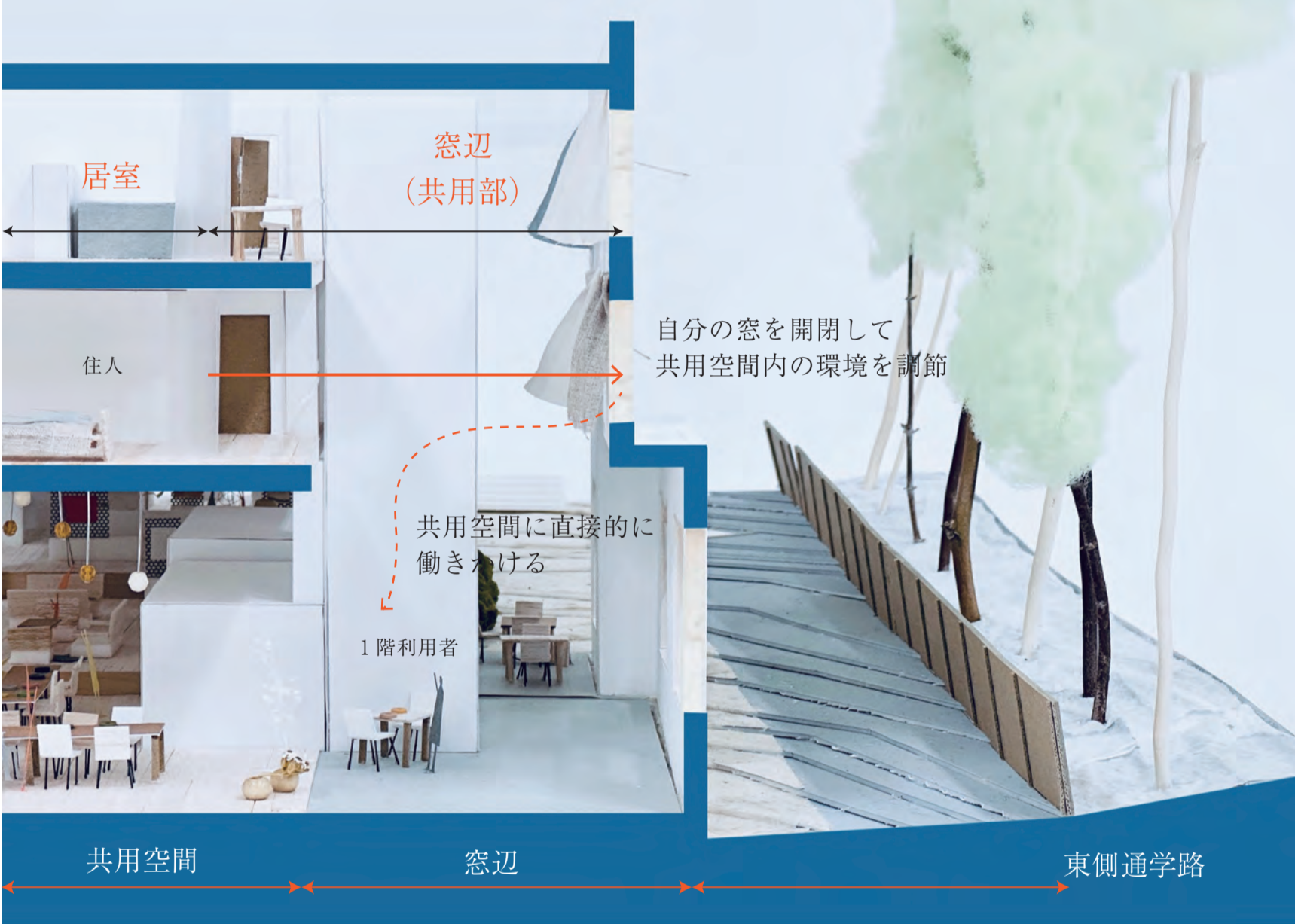
引き違い窓

カフェ
調理室
工房

共用空間の窓は、主に人の通行や出入りの多い調理室、カフェ、工房前の窓辺ではそこから人も出入りすることのできる引き違い窓とし、作業や展示などで使用される図書コーナー、ギャラリーの窓辺では開閉幅が上下で変更できる両上げ下げ窓とする。

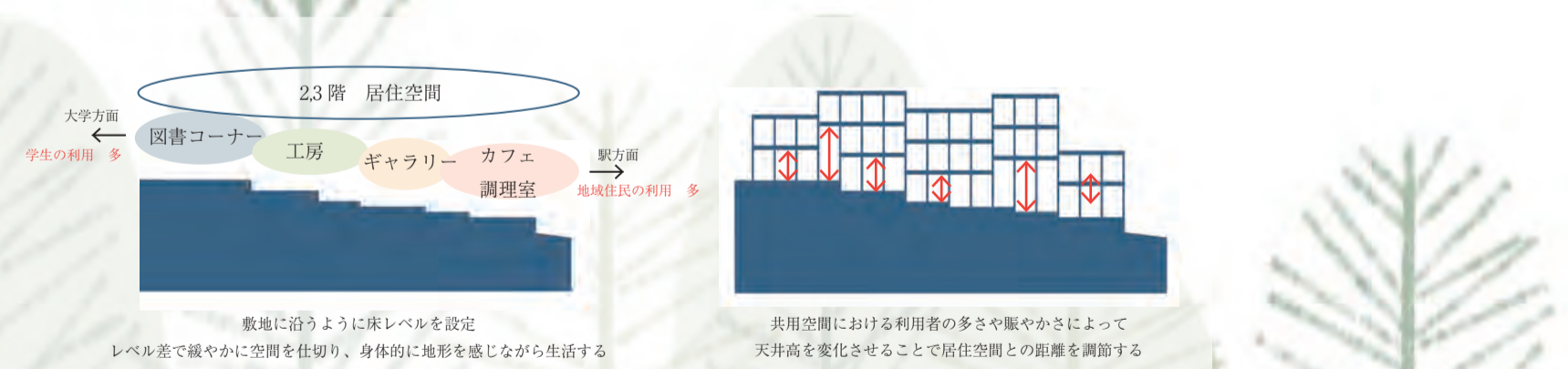
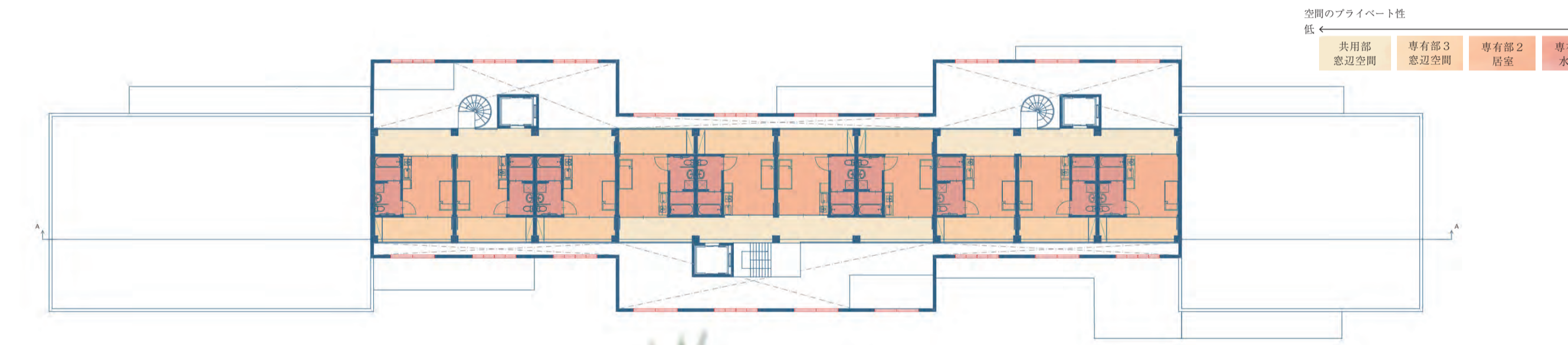
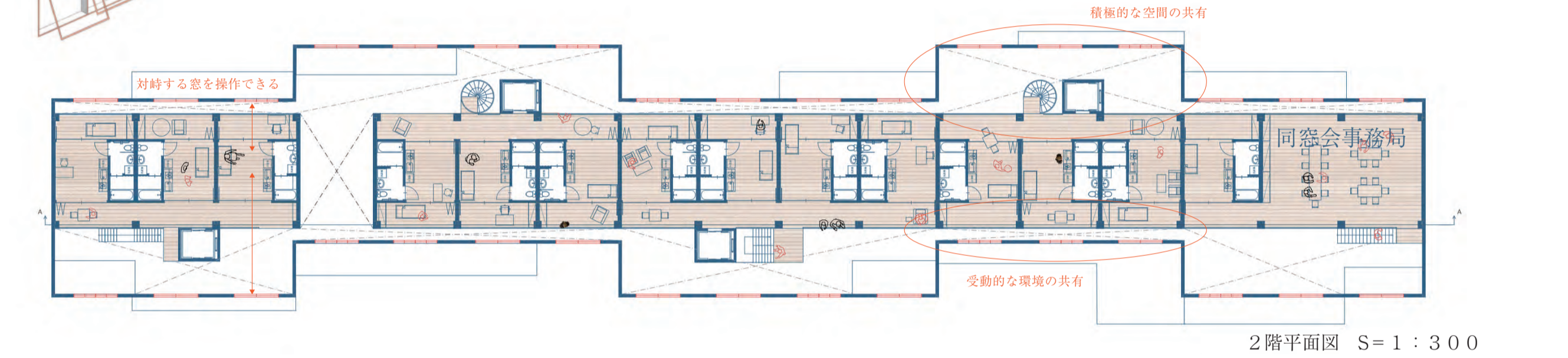


■共用部の窓辺…積極的な空間の共有



突き出し窓

住戸の窓は解放時でも雨が室内に入らない突き出し窓とする。ハンドルオペレーターで窓と対峙する住戸の人が操作できる。他種類の窓と比べて通風は劣るが、窓の配置や吹き付けによる高低差で空気の流れをつくる。



← 大学へ 図書コーナー 工房 ギャラリー カフェ 調理室 最寄駅へ →

